

開校宣言（令和6年度利島小中学校開校式）

校庭の桜がちょうど咲き誇る中、この度、歴史ある利島村立利島小学校・利島中学校を統合し、9年間の小中一貫教育を行う利島村立利島小中学校を新たに開校するにあたり、一言ご挨拶いたします。

はじめに、長らくこの利島において学校教育に携わってこられた多くの先輩方に、改めて敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

利島の学校の歴史は、今から約150年前の明治10年（1877年）に遡ります。長久寺を仮校舎として、「利島学校」の名前で利島小学校が開校したとされています。その後、昭和22年（1947年）に利島中学校が開校し、これまで合計で利島小学校では496名、利島中学校では345名の卒業生を輩出し、現在の利島や日本、世界を創り上げてこられた先輩方の学び舎となってきました。温故知新の考え方のもと、これまでの歩みを大切にしながら、新たな歩みを進めてまいりたいと考えています。

また、今回の義務教育学校への移行にあたり、利島小中学校の教職員の皆様、保護者の皆様、議会において全会一致で後押しいただいた議員の皆様、東京都教育庁大島出張所の皆様など、関係者の多大なるご理解・ご尽力をいただき、誠にありがとうございます。

義務教育学校への移行は、東京都伊豆諸島・小笠原諸島の学校で初のケースとなります。他島を見ても例がない取組に一步踏み出すには勇気がいりますが、島の未来を考えた時に、誰かがファーストペンギンとして、その一步を踏み出さなければなりません。未来の「キープレイヤー」を育てる学校づくりを、皆様とともに進めていきたいと考えています。

そして、児童生徒の皆さん、今回の義務教育学校への移行は、皆さんが利島村で学校生活を送るにあたって、利島だからこそ学べることを最大化するためのものです。学校も、そのために様々なことが少しずつ変わっていきます。ぜひ児童生徒の皆さんの「こうしたい」「ここは変えたい」「ここは変えたくない」という想いを先生に伝えてもらえればと思います。

一方、自分で言ったことには責任が伴います。自分の力で学校や利島や世の中を変えられる。皆さんには学校生活の中で、そのような経験をたくさんして、自分自身が幸せになりつつ、なおかつ人の役に立つ楽しさを感じる大人になってほしいと思っています。ただ、そのためにはたくさんのかたを学び、身につけなければなりませんし、時には悔しい思いをしたり、我慢が必要なこともあります。

ぜひ利島小中学校で、素晴らしい先生方と共に、貴重な体験を重ねてほしいと考えています。

最後になりますが、「良い学校が良い島をつくる」、「良い島が良い学校をつくる」と言われます。したがって、児童生徒の皆さん、教職員、保護者、地域の皆様、利島に関わる全ての方々が、学校づくりの当事者であり、島づくりの当事者でもあります。

利島の未来の成否を決めるのは、今、利島に住む我々なのだという認識のもと、新しい学校づくりを、皆様とともに進めていきたいと考えています。以上の挨拶を踏まえ、以下の通り宣言します。

利島村立利島小中学校の開校を宣言する。

令和6年4月8日
利島村教育委員会教育長 弟子丸知樹
※公開に伴い、一部修正しています。